

ブラジル アボカド生産者が日本向けの輸出審査を受ける

[FreshFruitPortal](#) 2025年5月19日

日本は2024年9月にブラジルからのハスアボカドの出荷を許可した。ブラジル果実生産者輸出業者協会(Abrafrutas)はこの発表を歓迎し、日本にはブラジルのアボカドにとって有望なチャンスがあると強調した。

同協会のギリエルメ・コエーリョ会長はこのニュースを受けて、「我々は、その独特の品質と風味で知られるアボカドで日本人の味覚をつかむ絶好のチャンスを手に入れた。日本の厳しい植物検疫要件を継続的に満たし、その扉を開けておくことは、今や我々次第だ」と述べた。

日本は、ブラジルの輸出業者が満たさなければならない一連の要件を定めており、その中には、輸出を目的とした果実の調製・梱包施設を評価・認証するために、日本の検査官が毎年訪問することが含まれている。

ブラジル産アボカドの検査

日本の業界のリーダー達は4月末に技術専門家を伴ってブラジルを訪問し、ブラジルのハスアボカド生産者が行なっている手順と運営状況を審査した。

同協会は、代表団がブラジルの主要なアボカド産地であるサンパウロ州の生産現場を訪問したと報告している。この訪問では、従業員の研修記録、収穫管理、果実のトレーサビリティ及び保管・輸送条件等が審査された。

査察では問題は確認されず、同協会は「これは日本のような高い水準の市場の要求を満たせる生産者の能力を示している。日本の検査官は、ブラジルの生産・出荷過程の専門性の高さと、プロトコル遵守の厳格さを確認した」としている。

アボカドの生産と市場

ブラジルは世界最大のアボカド生産国の1つであり、2022年の生産量は33万8千トンを超えた。アボカドは主に、気候と土壌が国際市場で高い評価を得ているハス、ブレダ等の品種の生育に適したサンパウロ州、ミナスジェライス州、パラナ州、エスピリトサント州及びセアラ州で栽培されている。

ブラジルのハスアボカドの輸出は近年大幅に増加しており、2023年には前年比9.72%増の2万3千トンに達した。

主な輸出先はヨーロッパ(主にスペイン、オランダ、フランス及び英国)のほか、アルゼンチン、ボリビア、ウルグアイである。